

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	かじがや障害者デイ・サービスセンター	評価対象年度	令和元年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 ・代表者名 成田 哲夫 ・住所 川崎市高津区久地3-13-1	評価者	障害計画課長
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害計画課

2. 事業実績

利用実績	生活介護（定員25名） 契約者数 24名（令和2年3月31日現在）、延利用日数4,987日																															
収支実績	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> 収入 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>福祉事業活動</td><td style="text-align: right;">118,053千円</td></tr> <tr><td>給付費</td><td style="text-align: right;">83,312千円</td></tr> <tr><td>川崎市独自加算</td><td style="text-align: right;">29,249千円</td></tr> <tr><td>指定管理委託料</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>拠点区分間繰入金</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">5,492千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">118,053千円</td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%;"> 支出 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>福祉事業活動</td><td style="text-align: right;">107,808千円</td></tr> <tr><td>人件費</td><td style="text-align: right;">83,369千円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td style="text-align: right;">14,432千円</td></tr> <tr><td>事業費</td><td style="text-align: right;">10,007千円</td></tr> <tr><td>拠点区分間繰入金</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>施設整備等</td><td style="text-align: right;">10305千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">118,113千円</td></tr> </table> </td> <td style="width: 10%; text-align: right;"> 収支差額 -60千円 </td> </tr> </table> ※端数処理のため合計が一致しないことがあります。	収入 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>福祉事業活動</td><td style="text-align: right;">118,053千円</td></tr> <tr><td>給付費</td><td style="text-align: right;">83,312千円</td></tr> <tr><td>川崎市独自加算</td><td style="text-align: right;">29,249千円</td></tr> <tr><td>指定管理委託料</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>拠点区分間繰入金</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">5,492千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">118,053千円</td></tr> </table>	福祉事業活動	118,053千円	給付費	83,312千円	川崎市独自加算	29,249千円	指定管理委託料	0千円	拠点区分間繰入金	0千円	その他	5,492千円	合計	118,053千円	支出 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>福祉事業活動</td><td style="text-align: right;">107,808千円</td></tr> <tr><td>人件費</td><td style="text-align: right;">83,369千円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td style="text-align: right;">14,432千円</td></tr> <tr><td>事業費</td><td style="text-align: right;">10,007千円</td></tr> <tr><td>拠点区分間繰入金</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>施設整備等</td><td style="text-align: right;">10305千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">118,113千円</td></tr> </table>	福祉事業活動	107,808千円	人件費	83,369千円	事務費	14,432千円	事業費	10,007千円	拠点区分間繰入金	0千円	施設整備等	10305千円	合計	118,113千円	収支差額 -60千円
収入 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>福祉事業活動</td><td style="text-align: right;">118,053千円</td></tr> <tr><td>給付費</td><td style="text-align: right;">83,312千円</td></tr> <tr><td>川崎市独自加算</td><td style="text-align: right;">29,249千円</td></tr> <tr><td>指定管理委託料</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>拠点区分間繰入金</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>その他</td><td style="text-align: right;">5,492千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">118,053千円</td></tr> </table>	福祉事業活動	118,053千円	給付費	83,312千円	川崎市独自加算	29,249千円	指定管理委託料	0千円	拠点区分間繰入金	0千円	その他	5,492千円	合計	118,053千円	支出 <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>福祉事業活動</td><td style="text-align: right;">107,808千円</td></tr> <tr><td>人件費</td><td style="text-align: right;">83,369千円</td></tr> <tr><td>事務費</td><td style="text-align: right;">14,432千円</td></tr> <tr><td>事業費</td><td style="text-align: right;">10,007千円</td></tr> <tr><td>拠点区分間繰入金</td><td style="text-align: right;">0千円</td></tr> <tr><td>施設整備等</td><td style="text-align: right;">10305千円</td></tr> <tr><td>合計</td><td style="text-align: right;">118,113千円</td></tr> </table>	福祉事業活動	107,808千円	人件費	83,369千円	事務費	14,432千円	事業費	10,007千円	拠点区分間繰入金	0千円	施設整備等	10305千円	合計	118,113千円	収支差額 -60千円		
福祉事業活動	118,053千円																															
給付費	83,312千円																															
川崎市独自加算	29,249千円																															
指定管理委託料	0千円																															
拠点区分間繰入金	0千円																															
その他	5,492千円																															
合計	118,053千円																															
福祉事業活動	107,808千円																															
人件費	83,369千円																															
事務費	14,432千円																															
事業費	10,007千円																															
拠点区分間繰入金	0千円																															
施設整備等	10305千円																															
合計	118,113千円																															
サービス向上の取組	・平成30年度から個別支援計画の策定について、年度末から誕生月での策定に変更し、そのサイクルが職員に定着し、しっかり準備をした上でカンファレンスに臨むことができ、より個別性の高い計画が策定できるようになった。 ・集団活動の各種プログラムについて、レクリエーション・芸術系活動・運動系活動等、利用者の希望や反応を確認しながら計画的に実施し、利用者が楽しめる時間を作った。内装工事前ならではのウォールペイントを企画実施、移転先の広さを活かしたお楽しみ会など、新たな行事を実施することができた。																															

3. 評価（評価段階：5～1,標準：3,加点割合：5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%）

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	5	10
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
（評価の理由） ・施設の老朽化に伴い、久末～7か月の月日を仮住まいとして過ごしたが、支援員、看護師等複数の業務のメンバーによる「久末移転プロジェクト」を立ち上げ、年度当初から移転後まで毎月検討会議を実施するとともに利用者、家族への丁寧な説明や移転に伴う業者等との多大な量の連絡調整を労力をかけて行ったことで、利用者に大きなストレスを与える事無く、また事故なく運営することができた。 ・台風19号で被災した「みやうち」からの利用者二人を受け入れる事により支援環境の調整を柔軟に行い、内1名についてはみやうちの運営営業再開後も継続利用の希望となり受入れる事となった。 ・利用者の障害の重度化、家族の高齢化が進む中、住み慣れた地域での安定した在宅生活を維持できるよう、家族の声を丁寧に吸い上げながら支援を積極的に行い、関係機関と連携・調整を行った。 ・祝祭日を平日同様の体制で運営しており、生活リズムの維持と介護の軽減につながり、利用者・家族から高い評価を得ている。					

収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 収入については、長期入院や入退院を繰り返す利用者がいたことや事業所の移転でサービスの提供ができなかったこと等から利用率が上がらない状況もあったが、在宅生活維持のための相談支援に努めるなど、可能な限り利用実績維持と安定収入に努めた。 支出については、久末への移転に伴う厨房・ボイラータンクの清掃、通信機器の設置に伴う業務委託費用など、予算策定時には見込めなかった項目があるものの、経費分を除けば、全ての活動を予算内で執行できていた。 					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	5	10
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取り組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	5	5
		サービス向上に向けた取り組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 移転先という慣れない環境でありながら、午後の集団活動と並行して別途個別活動を実施するなど、工夫しながら個別活動回数の確保に努めており、余裕を持って取り組みたいスヌーズレンの時間を多くとれるように支援した。 業務改善のための職員検討会において、平成30年度に見直したケア・サービスマニュアルの再周知、新たなマニュアルの作成を行い、円滑な運営の一助となった。また、利用者満足度アンケートで意見のあった接遇におけるマニュアルの徹底を目的とした研修を実施している。利用者サービス満足度アンケートの結果からも、提供するサービスや職員への満足度について高い評価を得ている。 					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	4	4
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	3	3
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	3
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3	
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 全職員が必要な研修を受講できるよう調整し、現場で活かせる技術の習得、資格の取得ができています。大きな事故につながる可能性のある小さな気づきをヒヤリハットとして積極的に挙げる習慣が定着しており、事故防止につながっている。小さなヒヤリハットも出るようになり、リスクマネジメントの意識が高くなった事により未然に事故を防ぎ職員全員の意識向上になっている。しかしながら、大きな事故には至っていないものの、利用者送迎時の事故が続いており、必要な安全確認が一部不足している。 実習生の受入れを継続的にを行い、その学生に接遇アンケートを依頼し第三者の意見を職員で共有し常に意識を高めている。 洪水や水害に備えての避難確保計画を作成周知し、平成30年に作成した施設独自のBCPも適宜加筆修正し職員全員に周知している。移転先においても避難訓練を実施し、今までと違った環境でも安全に避難できるよう訓練することができた。 					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	3	3
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	4	4
<p>(評価の理由)</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設、設備の保守管理については総合管理委託によって実施されている。移転に伴い無駄を省いて適正・計画的に修繕を実施している。 施設内外の清掃は委託業者にて毎日実施しており、使用した物品や手すりについては都度消毒を行うとともに、換気や温度、湿度をこまめに調節しながら、快適な環境の維持に努めた。 					

4. 総合評価

評価点合計	76	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E,標準.:C,A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満
A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・季節ごとに「かじがや通信」を発行し、掲示板で地域の方への活動報告や作品展示等を行っている。また、ボランティアによる演奏会や人形劇には、近隣住民や保育園にも案内をして、利用者を含めた「地域の催し」とすることで地域に根差した施設づくりに取り組んでいる。

・新規利用者や長期入院後に医療ケアが必要になった方など、様々なケースに対して状態把握と支援環境の調整を行っている。また、利用者の状況の変化に応じて家族との情報共有に努め、適宜ケアの方法を変更しながら、安全に配慮して対応している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

送迎車の事故が目立つため、運転手と同乗の支援員での声かけやゆっくりとした速度での安全運転に努めること。